

富良野市の健全化判断比率（平成21年度）

1 健全化判断比率の状況

	富良野市	早期健全化基準(市町村)	財政再生基準(市町村)
実質赤字比率 ・一般会計等の実質赤字の比率	(赤字なし)	財政規模に応じ 11.25～15% (富良野市：13.81%)	20%
連結実質赤字比率 ・全ての会計の実質赤字の比率	(赤字なし)	財政規模に応じ 16.25～20% (富良野市：18.81%)	40%
実質公債費比率 ・公債費及び公債費に準じた経費の比重を示す比率	12.5%	25%	35%
将来負担比率 ・地方債残高の他一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率	87.8%	350%	
公営企業における資金不足比率 ・公営企業ごとの資金不足の比率 (水道、ワイン、簡水、市場、下水)	(各々の会計において資金不足なし)	20%	

2 健全化判断比率における各指標について

(1) 実質赤字比率

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額 (179,950)} \quad (\text{千円})}{\text{標準財政規模 (7,786,975)}} = 2.31\% \quad (\text{負の値は黒字を示す})$$

標準税収入額 2,888,640
普通交付税額 4,478,051
臨時財政対策債発行可能額 420,284

(2) 連結実質赤字比率、資金不足比率 (総括表)

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計・特別会計の実質収支、企業会計の資金不足(剰余)額の合計 (1,561,054)} \quad (\text{千円})}{\text{標準財政規模 (7,786,975)}} = 20.04\% \quad (\text{負の値は黒字を示す})$$

【水道、ワイン、簡水、市場、下水 各会計において資金不足なし】

標準税収入額 2,888,640
普通交付税額 4,478,051
臨時財政対策債発行可能額 420,284

標準財政規模：自治体が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模

(3) 実質公債費比率 (総括表)

3 カ年平均値 : 12.5% (平成 19 年度 : 13.0%、平成 20 年度 : 12.8%、平成 21 年度 : 11.8%)

参考 (下記数式は平成 21 年度)

(千円)											
元利償還金の額	公営企業の地方債償還に充てた繰出金	組合等の地方債償還に充てた負担金	公債費に準ずる債務負担行為	一時借入金利息	—	特定財源の額	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費 (準元利償還)	災害復旧費等に係る基準財政需要額	災害復旧費等に係る基準財政需要額 (準元利償還)	密度補正により算入された準元利償還金
1,394,518	+ 364,654	+ 126,438	+ 88,841	+ 0	-	(143,171)	+ 200,407	+ 197,102	+584,927	+ 41,969	+ 8,676)
= 11.81835%											
標準財政規模 (7,786,975)						- (200,407 + 197,102 + 584,927 + 41,969 + 8,676)					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 標準税収入額 2,888,640 普通交付税額 4,478,051 臨時財政対策債発行可能額 420,284 </div>						<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費 (準元利償還)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">災害復旧費等に係る基準財政需要額</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">災害復旧費等に係る基準財政需要額 (準元利償還)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">密度補正により算入された準元利償還金</div> </div>					

(4) 将来負担比率 (総括表)

(千円)

地方債現在高	債務負担行為に基づく支出予定額	公営企業債等繰入見込額	組合等負担等見込額	退職手当負担見込額	3セク等の損失補償負担見込額	-	充当可能基金	充当可能特定歳入	基準財政需要額算入見込額
11,245,987 + 247,622 + 5,336,838 + 995,601 + 3,253,586 + 44,962						-	(2,093,038 + 3,134,739 + 9,965,590)		
= 87.8%									

標準財政規模(7,786,975) - 算入公債費等の額(1,033,081)

標準税収入額 2,888,640
 普通交付税額 4,478,051
 臨時財政対策債発行可能額 420,284